

Gene editing technology

概要

EUを脱退したイギリスは農業における政策を見直している。具体的にはEUにいた時の補助金制度に取り替えて環境保護の取り組みに対する農民への支払い制度を採用しようとしている。そのためにゲノム編集技術の使用を許可しようとしている。これは遺伝子組み換え技術とは異なり本来持っていないDNAを生物の中に入れることはない。そして害虫や気候変動などに強い作物を作れるため農薬を使う必要がなくなる。このように安全面や環境面から見てゲノム編集技術を取り入れるべきだとイギリス政府は考えている。

語彙リスト

- ・ gene editing→ゲノム編集
- ・ genetically modified products→遺伝子組み換え製品
- ・ harness→～を利用する
- ・ coherent→首尾一貫した
- ・ pesticide→農薬
- ・ The National Farmers' Union→全国農民組合
- ・ on its own→そのまま、ひとりでに

その他

ゲノム編集と遺伝子組み換えの違い

- ・ 遺伝子組み換え：両親を丸ごと掛け合わせて交配せず、特定の遺伝子のみを組み込む技術。このため自然界では全く発生しない現象である。
- ・ ゲノム編集：ゲノム解析により生物における重要な遺伝子の特定やその働きが分かるようになり、遺伝子を切ったり繋げたりすることでその情報を利用すること。つまり意図的に自然界で起こり得る突然変異を起こしていることになる。

ゲノム編集の長所

- ① ゲノム編集による結果は自然界で起こり得ることであるため摂取した人の健康や環境への悪影響が低い
- ② 確実性が高い技術であるため短期間で品種ができる